

えみくるだより

「えみくる」のシンボルマーク…直方市のイニシャル「N」をモチーフに男女（人）と共同（助け合い）を表現しています。また、3つの丸で市民を中心に企業が力を合わせ、行政の男女共同参画事業を盛り立てていくことを表しています。

第19回のおがた男女共同参画フェスタ 開催報告

直方からやろうよ！ワーク・ライフ・バランス ～幸せな働き方をつくり出せる社会に～



ひとつ「働き方」を変えてみよう！
カエル！ ジャパン
Change! JPN

ワーク・ライフ・バランスとは・・

「仕事と生活の調和」と訳されます。
内閣府が現在積極的に推進しています。

平成27年12月20日（日）、直方男女共同参画「夢ネット」（各団体、グループと協調して男女共同参画社会の実現を目指す団体）と直方市で「ワーク・ライフ・バランス」をテーマとしたパネルディスカッションとしゃべり場（ワールドカフェ）を開催しました。

それぞれが「どう生きたいか」の思いを持ち、そのために何を大切にし、その大切なものを犠牲にしない働き方を自ら創りだすきっかけになることを願い、このテーマとしました。

しゃべり場では、パネルディスカッションのパネラーを交えての意見交流が行われました。フェスタの参加者のアンケートでは、「職業人としての意識をしっかり持った上で、職場・家庭、常にコミュニケーションをとりながら理解者を多く持つことが大事。」「個人・会社・社会それぞれが意識を変えていかなくてはならない。仕事だけでなく、家庭、趣味、子育て、介護など同じように考えてやり方を考えなくてはいけないと改めて思った。」など、多くの感想をいただきました。『幸せな働き方』を考える一日となりました。

男女共同参画用語 ～リプロダクティブ・ヘルス／ライツ～

1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念で、重要な人権の1つとして認識されています。リプロダクティブ・ヘルス（女性の健康）とリプロダクティブ・ライツ（女性のからだと性の自己決定権）という2つの言葉から成り立っています。中心的課題として、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全で満足のいく性関係、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどが含まれています。

講座

もっと知ろう！参加しよう！ 介護公開講座と介護用品展示



男性も
ぜひご参加ください

よりよい介護をするために

■とき：平成28年3月12日（土曜日）
午前11時～正午
午後1時30分～2時30分

■ところ：男女共同参画センター

直方市赤十字老人看護奉仕団「胞子の会」が介護講座を行います。防災対策・シーツ交換・寝かせ方起こし方・車イスの移動など介護方法を実際に見ながら学ぶことができます。

子育て女性のための 合同会社説明会

＆就職支援セミナー in直方

開催報告

1月19日（火）、当団は雪が舞う寒い日でしたが、
参加者はセミナーや参加企業の話に耳を傾けました。

セミナーの講師 空直美さんは、就職活動するためには、「自分の強みを知り、口に出して伝えること。」と訴えました。また、輝くワーキングマザーになるために、「子どもに対し、働くことで後ろめたく思わないで。頑張っているあなたをきちんと見ていています。」と、力強く話され、これから就職に臨む女性にエールを送りました。



えみくる登録団体紹介

～直方見聞塾～



直方見聞塾は、直方の文化と歴史の再認識を目的に、講師の方を中心様々なテーマで話し合う場です。写真は火野葦平をテーマとした若松散策のものですが、このよう外に出る活動もしています。男性を中心に展開することが多い文化や歴史を見つめ直し、自分の住んでいる直方の有り得るべき姿を摸索する中で、今まで知らなかつた直方の魅力に毎回出会っています。

ひとまず、難しいことは抜きにして、ワイワイガヤガヤと楽しく語り合いませんか。